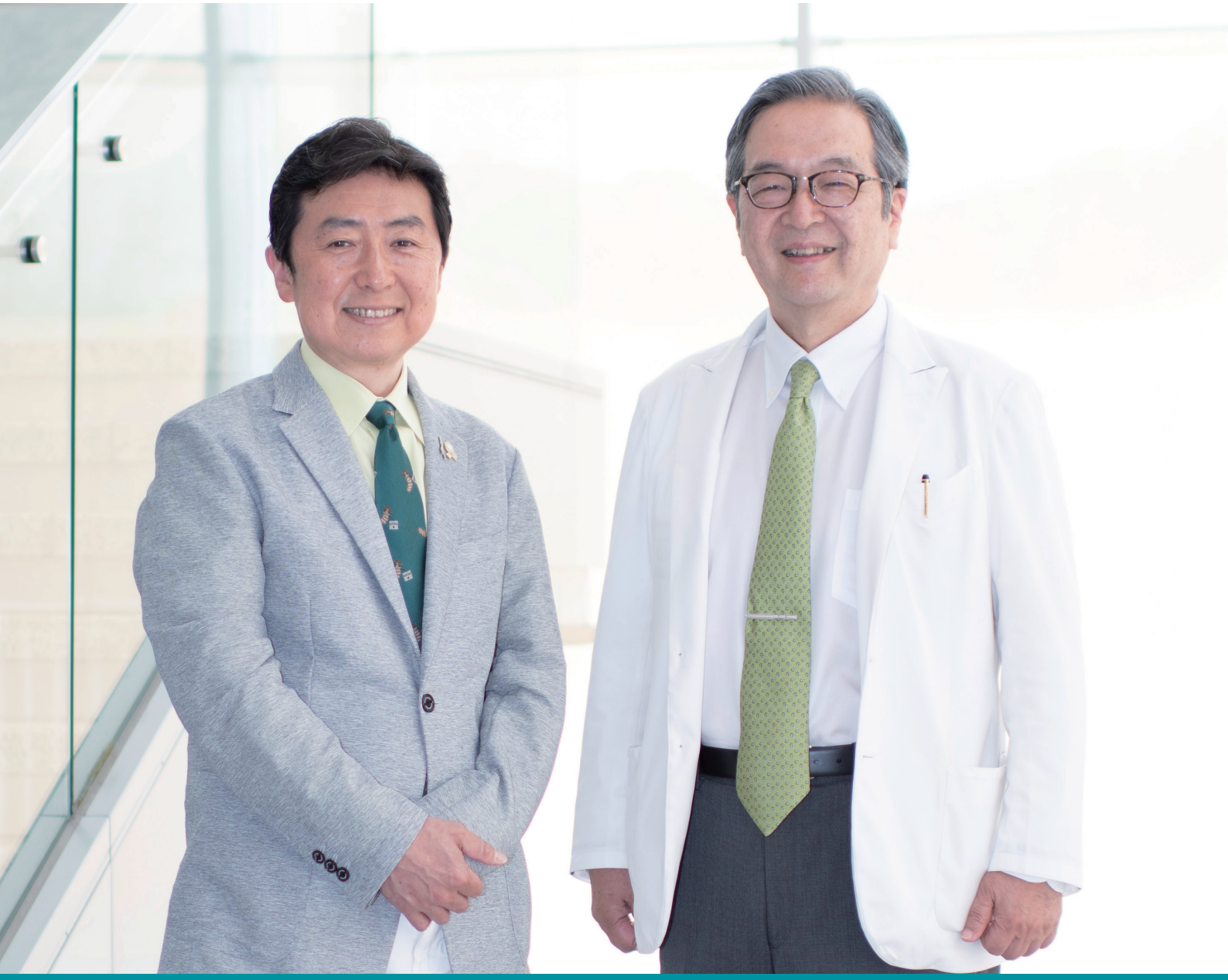
2022 07 Summer

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

CNJ Speakers

Know (≠No) More Cancer　私たちは、もっと伝えたい



No. 26

コロナ禍だからこそ入院中のがん患者が病室で Wi-Fi が使える環境整備を
CNJ News ／ CNJ Report
2021 年度活動報告・サポーターリスト
海外がん医療 TOPICS

コロナ禍だからこそ入院中のがん患者が病室でWi-Fiが使える環境整備を

佐野 武
がん研有明病院長

×

笠井 信輔
フリーアナウンサー

コロナ禍で、面会を禁止・制限する病院が多い中、入院中の患者が、家族や友人、社会とつながる重要なツールとなっているのが、インターネットに簡単にアクセスできる無料 Wi-Fi（無線 LAN）の存在です。ところが、患者向けの Wi-Fi 環境が整っていない病院はまだ少なくありません。今回はがん研有明病院長の佐野武先生と、フリーアナウンサーでがんサバイバーの笠井信輔さんが、入院患者向けの Wi-Fi 環境整備の重要性と全国の病院での導入の可能性について語り合いました。

Wi-Fiはコロナ時代に家族や社会とつながるライフライン

笠井　がん研有明病院では、比較的早い段階で入院患者が無料でWi-Fiを使えるようにしたと聞いています。入院患者向けのWi-Fi環境を設置した時期はいつですか。

佐野　まず2015年に12階西病棟という全室個室の病棟で入院患者さん向けに無料でWi-Fiを使える環境を整えました。当時は海外からの患者さんが増えていた時期でした。外国人の患者さんはWi-Fiがないと、自分の国の家族などとコンタクトが取れないので、これは院内で何とかしなければという話になったのです。

　個室病棟の患者さんからの評判はとてもよかったので、そのうち、院内の患者サービス向上委員会の活動で若いスタッフから、「全ての入院患者さんにWi-Fiを使えるようにした方がよいのではないか」という声が上がりました。そこで、2018年には、全ての入院患者さんに無料でWi-Fiを使えるようにしました。ただ、このときには、病棟の中央部にあるデイルームでのみWi-Fiを使える設定にしました。

　全病室でWi-Fiを使えるようにしたのは新型コロナウイルス感染症の拡大がきっかけです。コロナ対応でいっさい面会ができなくなった中で、2020年4月に、全病室でWi-Fiを使えるようにしました。

笠井　やはりコロナの影響は大きいですよね。私は、2019年の12月にステージⅣのびまん性大細胞型B細胞リンパ腫と診断され、遺伝子異常が見つかったこともあって、4カ月半入院して治療を受けました。抗がん剤治療は厳しかったのですが、最初の1カ月はたくさん友人、知人が見舞いに来てくれて、随分励まされました。

　ところが、コロナ禍で面会禁止になり、残りの3カ月半は誰も来ないという状況になりました。本当に寂しかったのですが、孤独感から救ってくれたのがスマートフォンを介したオンライン面会やSNSで多くの方とつながっているという感覚でした。

佐野　笠井さんが入院された病院には患者さん用のWi-Fiはあったのですか。

笠井　いいえ、患者用のWi-Fiはなく、月約8000～1万円の追加料金を払って、スマートフォンの容量であるギガバイト（GB）数を増やしてインターネットに接続していました。

　そのときにはそんなものかと思っていましたが、退院後にがんの啓発活動を始めて、イベントでその話をしたら、多くの患者が病室にWi-Fiが欲しいと思っていながら、誰も声を上げていないことがわかりました。そこで、イベントでつながった有志8人と「#病室Wi-Fi協議会」という団体を立ち上げ、2021年1月から、社会インフラとして全国の病院での入院患者用のWi-Fi設置を応援する活動をしています。

佐野 武（さの たけし）

がん研有明病院病院長・がん研究会代表理事

1980 年東京大学医学部医学科卒業。パリ市キューリー研究所フェロー、国立がんセンター中央病院第二領域外来部長、がん研有明病院消化器外科部長、同消化器センター長・副院長などを経て、2018 年より現職。技術力の高い日本の胃がんの外科治療を世界に広めるべく「スポークスマン」として、世界各国で胃がん手術の指導を行ってきた。王立エジンバラ外科医師会名誉会員、欧州外科協会名誉会員などでもある。監修書に『胃がん 完治をめざす最新治療ガイド』（講談社）など。

佐野　入院患者さん用のWi-Fiを設置している病院はそんなに少ないのですか。

笠井　#病室Wi-Fi協議会では、2021年6～8月に、全国451カ所のがん診療連携拠点病院、15カ所の小児がん拠点病院、140カ所の国立病院機構の病院などに調査を実施しました。そのうち、患者用の無料Wi-Fiを設置していたのは、がん診療連携拠点病院112カ所（24・8％）、小児がん拠点病院は2カ所（13・3％）、国立病院機構の病院は11カ所（7・9％）でした。

当時厚生労働副大臣だった三原じゅん子議員の働きかけがあって、同年3～9月の半年間、コロナ対策費として、患者用のWi-Fiを整備するための補助金が出ましたので、実際にはもう少し増えています。それでも、こういった中核病院でさえ、まだ患者用のWi-Fiがないところが多いのが実情です。

佐野　多くの病院では、電子カルテとは別に、企業などで使われているのと同じように、医療スタッフや事務スタッフが使っているOA（オフィスオートメーション）系のWi-Fiがあるはずです。当院でも、医師などがカンファレンスなどをするときに、インターネットを使える環境が必要だということで、2013年に、電子カルテとは別に、OA系のWi-Fiを整備しました。ですから、入院患者さん用のWi-Fi環境を整えるときには、そのアクセスポイントを使い、ちょっとした工事と外部のプロバイダーとの契約を変えるだけで済みました。

多くの病院では、電子カルテとは別のWi-Fi環境があるはずですから、それに相乗りするような形で患者さん用のWi-Fiを設置することはそれほど難しいことではないと思います。コロナの影響で面会を制限している病院は多いですし、自分が入院することを考えても、ネット環境なしの生活は考えられませんからね。

笠井　何しろ、コロナによる入院患者の孤独は大きいと実感しています。病院の先生の中には、Wi-Fi設置はユーチューブ（YouTube）を見るなど娯楽のためととらえている方も多いかもしれません。しかし、#病室Wi-Fi協議会で患者さんにWi-Fiを何に使ったか調査してみたところ、最も多かったのは、「家族や知り合いとのコミュニケーション」でした。2番目は、自分の病気の状況や社会のことの検索で、娯楽のための使用は意外と少ないという結果でした。コロナ時代であることもあって、Wi-Fiは、入院患者にとってのライフラインになってきていると感じています。

笠井 信輔（かさい しんすけ）

フリーアナウンサー

1987 年早稲田大学商学部卒業後、フジテレビに入社。「情報プレゼンターとくだね！」のサブ司会兼メインアシスタント・ニュースデスクなどとして活躍。2019 年 10 月フリーに転身。同年 12 月にびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断され入院治療を受ける。がんの啓発活動にも携わり、社会インフラとして病室に Wi-Fi 環境を整えることを呼びかける有志の団体「#病室 WiFi 協議会」の中心メンバーとしても活動中。著書に『生きる力 引き算の縁と足し算の縁』（KADOKAWA）など。

医療機器や電子カルテへ影響を与える心配は無用

笠井　費用面で躊躇する病院もあるのですが、患者用のWi-Fiの整備にはどのくらいの費用がかかったのでしょうか。ランニングコストについても教えてください。

佐野　当院の入院病床は686床ですが、全ての入院患者さんがWi-Fiを使うためにかかっているランニングコストは、月額約20万円です。もう少し安価なWi-Fiもある

ようですが、セキュリティ面を考えるとこのくらいのコストは仕方ないと思います。

初期費用については、全室でWi-Fiが使えるようにしたときには、前述のように医療従事者が使っているOA系のWi-Fiへの相乗りでしたので、それほどコストはかかりませんでした。ただ、端の方の病室ではつながりにくいときがあったので、2021年3月に改めてWi-Fiの品質を改善しようということで、院内のWi-Fiを病院、病棟、研究所も含めて全面的に整備し直しました。その費用は全体で約1000万円かかりました。そのうち、病棟の患者さん用のWi-Fiにかかった費用は約300万円です。医療従事者向けのWi-Fiに相乗りする形であれば、そこまでかからないと思います。

笠井　入院患者用のWi-Fiを設置したらナースコールが鳴る回数や鎮痛薬が減った病院もあると聞きました。先生の病院では、そういった変化はありましたか。

佐野　残念ながら、全病室でWi-Fiが使用できるようになったときには、コロナ対応が大変な時期だったので、そういったことは調べられていません。これから患者さん用のWi-Fiを設置する病院が、導入前と後とで患者さんにどのような変化があったのか、前向きに調べてみると面白いかもしれませんね。

笠井　患者用のWi-Fiの導入を躊躇されている病院の院長先生や事務長さんたちの中には、電子カルテに何かあったら困るから、導入できないとおっしゃる方もいるのですが、先生の病院では反対意見はありませんでしたか。

佐野　まったくありません。例えば、ペースメーカーなどの医療機器に対する影響ですが、総務省が出しているデータでも、全く問題がないことがわかっていますので、誰も心配しませんでした。また、電子カルテはイントラネット（組織内におけるプライベートネットワーク）で、外からいっさいアクセスできない状態になっています。医療従事者や患者さんが使うWi-Fiはインターネット回線で、電子カルテとは全く違う経路なので、混線したりすることはあり得ません。

それから、患者さんたちがWi-Fiを使ってインターネットテレビを観たりしたら容量がパンクするのではないかという心配はあったのですが、今のところ容量にはかなり余裕のある状態です。

今後は、病室の無料Wi-Fi設置が当たり前になる時代に

笠井　佐野先生にそう言っていただけると心強いです。特に、小児がん拠点病院で治療を受けているお子さんのご両親からは、#病室WiFi協議会に要望がたくさん寄せられています。コロナ時代になって、オンライン授業ができる体制が整った学校が多いのに、入院している子どもたちは病院にWi-Fiがないと授業が受けられないという問題があるからです。Wi-Fi環境が整っている病院では、小児がんやAYA世代のがん患者の休学、留年が減ったという話もありますから、病室へのWi-Fi環境整備は必須だと思います。

佐野　それは重要な問題ですね。例えば、海外のホテルでも、10～15年前は、有線のLANに利用料を払ってインターネットを使っていたのが、今では無料Wi-Fiがないと敬遠されるような状態になりましたよね。

がん治療については Wi-Fi の有無だけで病院を選ぶことはあり得ないと思いますが、どこでも受けられるような手術などで入院する場合には、近い将来、患者さん用の無料Wi-Fiがあるかどうかが病院の選択基準の一つになる時代が来るかもしれません。パソコンを病室に持ち込んで仕事をしている患者さんも少なくありませんし、いまや高齢者も含めて多くの方がスマートフォンを使っていますから、今後は病室へのWi-Fi整備は必要だと思います。

笠井　Wi-Fiについて患者さんからの評判はいかがですか。

佐野　非常に評判が良いのですが、さらなる要望もあります。1つは24時間使えるようにしてほしい、もう1つは、外来でも使えるようにしてほしいとの要望です。

病院は療養の場なので夜眠らないでインターネットにつながっているような患者さんがいては困りますし、周囲の患者さんへの影響を考えて、病室でのWi-Fiは、全室個室の12階西病棟以外は、22時から翌朝6時までは接続できない設定にしています。実は、全室でWi-Fiを使えるようにしたのと同時に、21時だった消灯時間を22時にずらしました。さらに、12階西病棟以外の個室でも24時間使えるようにするか検討中です。

それから外来に関しては、当院では1日約1700人の外来患者さんを診ています。その方たちが安全に無料Wi-Fiを使えるようにするための費用を見積もってみたら約8000万円もかかることが分かりました。外来用は次の課題です。

笠井　入院患者用だけなら、医療従事者が使っているWi-Fiへの相乗りでそれほど費用をかけずに導入できるということですね。#病室WiFi協議会では、病室で無料Wi-Fiが使える病院のリストをホームページ※上で公表しています。リストを公表するまでもなく、全国の病院の病室で無料Wi-Fiが使えるようになってほしいです。

文／福島安紀　写真／木口マリ

病室 WiFi 協議会

※ https://wifi4all.jpn.org/hospital/

がんのセクシュアリティ支援事業 小冊子「もっと知ってほしい がんと性にまつわること」発刊

がん患者の性生活（セクシュアリティ）～心と体に及ぼす性的側面のサポート～事業は、日本対がん協会の協力による休眠預金活用事業として2020年度より開始し、3年目になりました。この度、がん患者・パートナーへがんや治療にともない変化・影響を及ぼす性（セクシュアリティ）にまつわる情報を提供するとともに、医療の現場における支援の一助となることを目的として、小冊子「もっと知ってほしいがんと性にまつわること」を制作、1月末に発刊いたしました。監修は昭和大学保健医療学部教授の渡邊知映先生と聖マリアンナ医科大学腎泌尿器外科学教授の菊地栄次先生です。

がん患者・パートナーのがんと性の問題に対して、「知識不足」「経験不足」「患者さんが本当に困っているのか分からない」「自信がない」など、支援にためらいや困難を感じている医療従事者は多いと聞きます。

支援のハードルが下がることで、より多くのがん患者・パートナーの不安や悩みを少しでも和らげることができるのではないか。がん患者・パートナーにとっては、必要な情報を必要なタイミングで得られるよう、長く手元に置けるように。さまざまな想いを小冊子に込めました。

がん経験者やパートナーへのインタビュー記事を数多く掲載し、がん治療による性生活への影響や、治療中の注意点、性生活再開時期、パートナーとの関係や恋愛・結婚など幅広く情報をまとめています。

小冊子は、キャンサーネットジャパンのウェブサイトから無料でダウンロードが可能です。ご活用いただける医療機関へは1回のご依頼あたり40冊まで無償でお送りいたします。多くの医療機関でご活用いただき、患者ががんを克服して、あるいは、がんと共に生活をしていく中で、安心して性についても相談できる社会になっていくことを願っております。

担当／池田

冊子ダウンロード
https://www.cancernet.jp/cands
冊子は無料でダウンロードが可能

医療機関のみなさま
https://www.cancernet.jp/seikatsu/cands/
医療機関への冊子無償提供について

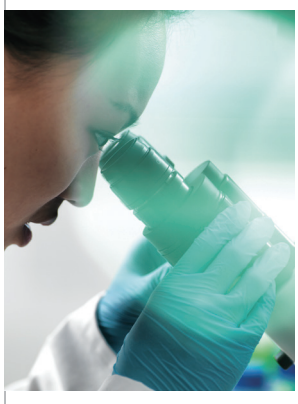
啓発動画「したい？する？～がんとセックス～」公開！

がんやがん治療による性生活への影響について、無意識に諦めていたり、自分には権利が無いと思い込んでしまったりしている患者に対し、自分にも権利があること、安心して相談できることに気付いてもらうきっかけとするために、アニメーション動画を制作、公開しました。「したい？する？～がんとセックス～」がんサバイバーのアヤカと恋人のユウキの、がんとセックスをめぐるお話です。性的側面への影響を改善・軽減する方法や工夫があることを知ってもらう機会になれば幸いです。

動画制作にはNPO法人サービスグラント（https://www.servicegrant.or.jp/）に協力を依頼。プロボノの提供を通じたNPO等支援事業により、マーケティングから企画・動画制作まで、普段がん医療に携わらないさまざまな分野の専門家からの視点からは学びも多く、CNJとしては初のアニメーション動画が完成・公開しました。携わってくださったプロボノスタッフの皆様には心よりお礼申し上げます。

担当／池田

詳細はこちら
https://www.cancernet.jp/seikatsu/anime/



To serve patients
患者さんのために、今できるすべてを

アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。
バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、以来、探求を重ねてきました。
40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。
日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、神経疾患の領域に重点を置き、アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

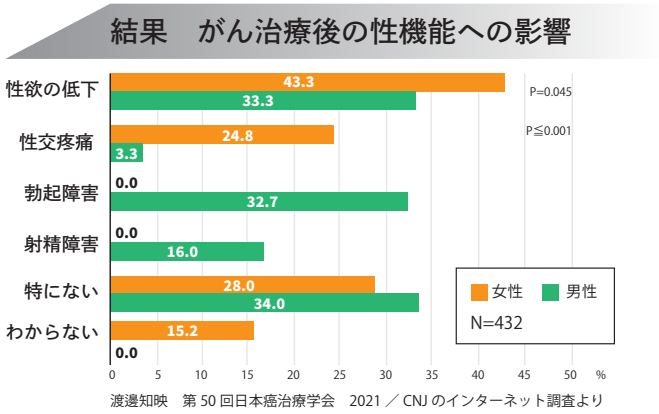
アムジェン株式会社 AMGEN

AYA week 2022 イベント「病気になったAYA世代の恋愛・結婚どうする？」開催レポート

AYA（Adolescent & Young Adult：思春期・若年成人）がんへの社会の理解を求め、現在治療に向き合っている患者・家族に向けたさまざまな催しが行われたAYA week 2022。CNJは、3月11日、「病気になったAYA世代の恋愛・結婚どうする？がん患者だって恋愛は大事だもん！」を開催。昭和大学保健医療学部教授の渡邊知映さんを司会に、20代でがんを経験した4人が本音のトークを展開しました。

初めに渡邊さんが、厚生労働省研究班の「AYA世代がん医療に関する包括的実態調査」を例に、次のように問題提起しました。「情報が欲しかった項目にセックスのことを挙げている人が46%もいるのに、性の問題って話しにくい。性や恋愛の悩みは、ニーズがあるのに支援に至っていない問題です」

CNJが2021年に実施したインターネット調査でも、がん治療後に、女性の43・3%、男性の33・3%に性欲の低下、男性の32・7%に勃起障害が生じるなど、性の問題に悩む人が多い現状が浮き彫りになっています。（左上図）



渡邊知映　第50回日本癌治療学会　2021／CNJのインターネット調査より

20代でがんの診断。一番気になったことは？

23歳で胃がんになった吉川さんは、「最初は生きていられるのか、胃を全摘したらどうなるのかが気になりました。体調が回復するにつれて、仕事のことや誰に病気のことを伝えようかなどの悩みが増えていきました」と語りました。

「病名の告知よりも不妊になるという衝撃の方が大きかった」のは、やはり23歳で急性リンパ性白血病になり骨髄移植を受けたねこざわさんです。がん患者の妊孕性温存治療支援などがまだなかった頃で、誰にもつらい思いを打ち明けられずにいました。藁にもすがる思いでかけた白血病専用の相談電話の担当者が20代で骨髄移植を受けた当事者で、「私も頭がおかしくなるくらい悩んだのよ」と寄り添ってくれたことに救われたといいます。

そして、27歳で大腸がん（直腸・肛門がん）の手術を受け、その後も再発や他のがんを経験しているカッキーさんが一番ショックだったのは、「手術2日前に告げられた性機能障害」でした。「3歳のときに大やけどをしたあとが残っていることでいじめられたりしていたから、ステージⅣのがんだと言われて、やっと死ねると思ったけど、人工肛門になるから大好きな柔道ができなくなると言われたことと、性機能障害はショックで、男として終わったと思いました。13年経って、最近やっとこの話ができるようになったくらいです」と話しました。

恋愛相手に病気の経験を伝えるタイミングは？

吉川さんは、「親密にならないと伝えない」派。ただ、就職をしたばかりのときにがんになり、一度仕事を辞めているので、その話をする流れで胃を全摘したことを話さざるを得ない展開になることもあるそうです。

一方、カッキーさんは、「最初から伝える」派。薄着の季節には、やけどのあとや人工肛門がわかるので伝えざるを得ない面もあるとい

Speakers

CancerNet Japan　AYA WEEK 2022

病気になったAYA世代の恋愛・結婚どうする？
がん患者だって恋愛は大事だもん！

自己紹介

吉川くん（now34歳）

23歳の時に、**胃がん**になりました。

東京都出身。現在も東京都在住。趣味は読書です。26歳の時に正社員として社会復帰、最近病気に関わるイベントには、お声がかかれば積極的に参加するようにしています。

私の辛かった事～悩んだ事

胃を全摘出して食事がつらかった。食事は栄養摂取だけでなく、人とコミュニケーションを取る文化としても定着しているので、当時食事ができなくなった僕は体力が落ちて仕事を失っただけでなく、友人もいなくなってしまいました。ちなみに今は両方取り戻して楽しく暮らしています！

CancerNet Japan　AYA WEEK 2022

病気になったAYA世代の恋愛・結婚どうする？
がん患者だって恋愛は大事だもん！

自己紹介

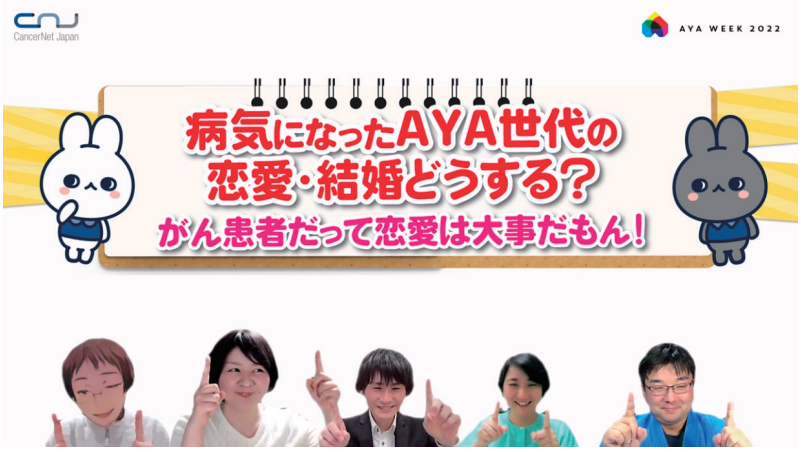
ねこざわ（now40代）

23歳の時に、**急性リンパ性白血病**になりました。

田舎育ちで趣味は、田んぼの風景や自然旅行や観劇。正社員勤務30代半ばで、夫と出会い、結婚しました！

私の辛かった事～悩んだ事

就職1年目、社会から取り残される焦りがありました。病気よりも不妊の衝撃が大きかったです。悩むことさえ贅沢な事かと、悩みました。治療後の未来（仕事・私生活）への漠然とした不安がありました。



い、こう続けました。「相手に、ありのままの自分を見せて、それでもいいと受け入れてもらえないと恋愛に発展しないし、がんであることをマイナスに捉えて欲しくないから明るく伝えます」

ふじあこさんも、「がんのことを伝えて関係性が崩れたら時間がもったいないから、割と最初の方に伝える」と話しました。また、ねこざわさんは、「この人なら今話せると思ったタイミングで伝える」派。30代のときに結婚した夫には、結婚を前提につきあおうと言われたタイミングで病気のことを伝えたそうです。視聴者からの「親御さんからのプレッシャーはありますか」との質問には、「2人の人生を生きて行くのを応援してくれているので、プレッシャーはありません」と回答しました。

キスやセックスをするとき困ることは?

ふじあこさんには、キスは自然にできるものの、人工肛門のパウチ（ストーマ装具）が気になって、ベッドには入ったもののセックスにまで至らなかったという経験も。卵巣を摘出して膣の乾燥があるため潤滑ゼリー剤を購入したり、オストメイト（人工肛門保有者）の体験談を読んだりしてセックスができていることを知り、気持ちを落ち着かせていると語りました。

同じオストメイトのカッキーさんは、パウチが見えないように腹帯をしてスキンシップをするようにしているそうです。「勃起障害があるので、いい雰囲気になってもブレーキをかけざるを得ないのはつらいし、今でも苦しんでいます」と打ち明けました。

一方、ねこざわさんは、骨髄移植後のGVHD（移植片対宿主病）で膣の乾燥があるため、性行為のときに痛むのではないかという心配も。痛みが出るかは体調によっても異なるため、そのことをパートナーに伝え、痛いときには無理に性行為をしないようにしているそうです。

不妊を受け入れるきっかけは?

ふじあこさんは、泣いてばかりいるのが嫌でつらい気持ちを紙に書き出してみました。「子どもを産まなくても養子縁組とか里親制度があるから、子どもを育てたければ育てられる」と考えたら、ふっきれたと話しました。

ねこざわさんは、泥沼に沈み込むような気持ちでとことん悩み抜いた中で、白血病になった経験を強みとして考えるように。患者仲間と話すうちに、「子どもを産めない代わりに、後輩を育てるとか、何かを生み出すことができるのではないか」と気持ちを切り替えたといいます。

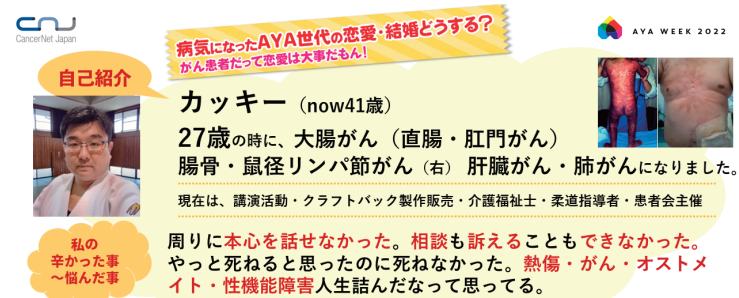
医療者に性の問題をどう支援してほしい?

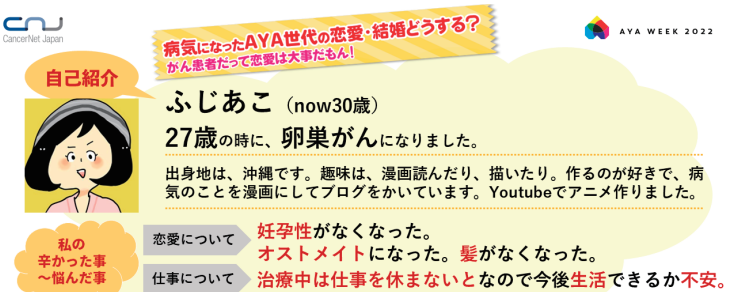
「性の問題も話してもいいのだと思わせてほしいです。一緒に悩むという雰囲気作りから始めてほしいですね」と、カッキーさん。ふじあこさんも、「がん治療の影響の一覧の中に性生活の話もあって、当たり前に質問していいという雰囲気がほしいです」と語り、治療が落ち着いたタイミングで質問できるように性への影響をまとめた冊子が手渡されると患者も情報が得られ質問もしやすいと話しました。

ねこざわさんは、「患者は話しやすいスタッフに話すので、相談された人は真摯に受け止めてほしい」と強調。最後に、吉川さんは、「今は元気になりましたが、胃がんの治療を受けた直後は本当につらかったです。いま大変な人もいると思いますが、一緒に頑張りましょう」と呼びかけました。

司会の渡邊さんが、「性のことは、人とのコミュニケーションの中で問題になったり、幸せを感じたりすることでもあるわけです。私たち医療者は、目の前の患者さんの声をしっかり聴く中で、今まで見えなかったこういう問題を受け止めていかないといけないと思います」とまとめ、ディスカッションが終了しました。

文／福島安紀





血液がんフォーラム2022 11月19日(土)～20日(日) 開催決定

血液がんフォーラムは2019年より開催しており、今年で4回目となります。第2回以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインへと変更していますが、日本全国のみならず海外からや入院中の病室からも多数ご参加いただいています。

なかなか収束しないコロナ禍で、特にリスクの高い血液がん患者が治療を受けることは、以前にも増して不安が大きいことは想像に難くありません。面会制限が続く医療機関で長期入院を強いられている患者や家族は、自分と同じような経験のある方々と繋がりたい、どのように過ごしているのかを知りたいとの声も届くなか、今年はそのような声にも応えるコンテンツを充実させるように工夫をし、企画しています。

本フォーラムは各種血液がんの最新情報と、造血幹細胞移植医療の現状と課題についても、血液がん患者・家族、ドナー、そしてボランティアを含む一般市民に広く普及・啓発するために開催いたします。また、一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパンと共催で開催し、100種類以上にも分類されるリンパ腫についての情報提供も充実しています。オンライン開催のため、どこからでもご参加いただけます。

プログラムの詳細や申し込みについては順次ウェブサイトにて公開します。皆様の参加をお待ちしています。

担当／池田

オンライン 血液がんフォーラム 2022

11月19日(土)

専門医によるセッションや体験談など（リンパ腫 / 白血病 / 多発性骨髄腫 / 小児白血病 / ゲノム / CAR-T 細胞療法…など）

11月20日(日)

全国の血液がんのサポーター大集合！患者会や院内患者会、患者さん向けの情報発信サイトなど様々な企業や団体を紹介します。

今年も充実したプログラムを準備中です！

https://www.cancernet.jp/bcf_2022

キャンサーチャンネル リニューアルで見やすくなりました！

このたび、キャンサーチャンネルを全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、より分かりやすく使いやすいホームページを目指して、デザインやページの構成を変更しております。また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応し、幅広いデバイスから見やすいように改善いたしました。アライアンスメンバーの冊子の紹介など新メニューも追加いたしました。より安全にご利用頂けるよう、全ページを常時SSL化（通信の暗号化）にいたしました。旧URLにアクセスした場合でも、自動的に新URLに送信されますがブックマークやお気に入り登録をされている場合は新URLを登録頂けますと幸いです。

今後も多くの皆様にご利用いただけるウェブサイト作りを目指し、内容のさらなる充実を図ってまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

CancerChannel

サイトはこちらから

https://www.cancerchannel.jp/

冊子・視聴は無料です！

ヤンセンが目指すのは、病が過去のものになる未来を作ることです。

世界のすべてが、私たちの研究室。病と懸命に闘う患者さんのために、高い科学技術、独創的な知性、世界中の力を合わせ、新しい可能性を切り拓く。
すべては、私たちの解決策を待つ、ひとつの命のために。複雑な課題にこそ挑んでいく。
新しい薬を創るだけではなく、それを最適な方法で提供する。
革新的な薬や治療法を、届ける。世界中に、私たちを待つ人がいる限り。
誰もが健やかに、いきいきと暮らす社会。
そんな「当たり前」の願いのために、自ら変化し、努力を続けます。

ヤンセンファーマ株式会社
www.janssen.com/japan
www.facebook.com/JanssenJapan

Janssen PHARMACEUTICAL COMPANIES OF Johnson & Johnson

「動画で知ろう！もっと知ってほしい大腸がんのこと」ウェブサイト公開
オンライン市民公開講座
「女性にもっと知ってほしい大腸がんのこと、ストーマのこと」開催報告

患者さんの状態に合わせて大腸がんのステージ（病期）別に症状や治療法の情報をお届けしたいと思い「動画で知ろう！もっと知ってほしい大腸がんのこと」ウェブサイトを公開いたしました。

ウェブサイトコンテンツでは、大腸がんについての基礎知識を石黒めぐみ先生（東京医科歯科大学）に、ステージ別の外科的治療については板橋道朗先生（東京女子医科大学）、内科的治療については佐藤太郎先生（大阪大学大学院）、ステージⅣ（再発大腸がんの治療）については、室圭先生（愛知県がんセンター）にそれぞれ解説していただきました。加えて『TOPIC』として、がん遺伝子検査とゲノム検査のことを篠崎英司先生（がん研究会有明病院）、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を下山理史先生（愛知県がんセンター）、体験談を金哲彦さん（プロランニングコーチ・大腸がん体験者）からお話しいただいた内容を公開しています。

ご自身の状況や治療法を理解し、安心・納得することは、闘病する上でとても大切なことです。この動画サイトをご覧いただくことで、大腸がんと診断された患者さんやご家族の不安や疑問が解消されて主治医とのコミュニケーションにも役立つことを願っています。ぜひ、ご活用ください。

3月6日（日）にオンライン市民公開講座「女性にもっと知ってほしい大腸がんのこと、ストーマのこと」を開催しました。

講演では、幸田圭史先生（帝京大学ちば総合医療センター）から大腸がんの検診の重要性やストーマ（人工肛門）について、犬飼道雄先生（岡山済生会総合病院）からは毎日の食事を楽しみながら栄養をとることについて、そして工藤礼子さん（国立がん研究センター中央病院看護部）からは、なぜストーマが必要なのか、女性ならではの悩みやそれに対する工夫や心の持ち方などをお話しいただきました。後半の対談「日々生き生きと自分らしく暮らす～ストーマライフ私の場合」では、特別ゲストの内田春菊さん（漫画家・作家）、エマ・大辻・ピックルスさん（医師・オストメイトモデル）と司会の中井美穂さん（フリーアナウンサー・CNJ理事）がそれぞれの体験談を元に「今を楽しむ」ヒントや考え方を、明るくエピソードを織り込み語られました。開催後のアンケートからは「今日のお話を聞いて、わかりやすかったとともに、とても勇気づけられました。前向きな気持ちになれそうです。」などの感想をいただきました。

女性の大腸がん罹患者や死亡者は大変多く身近ながんです。普段から関心をもっていただきたいと願っています。また、ストーマ（人工肛門）を知ることが偏見や孤立を無くす第一歩だと思いました。

担当／馬場

終了後、登壇の先生とスタッフの記念撮影。前段左から、小西敏郎CNJ理事、工藤礼子さん、幸田圭史先生、エマ・大辻・ピックルスさん、内田春菊さん、中井美穂司会・CNJ理事。（犬飼先生はリモートのためご一緒に撮影が叶いませんでした）

ブルーリボンキャンペーン BLUE RIBBON CAMPAIGN
動画で知ろう
もっと知ってほしい！
大腸がんのこと
「大腸がん」あなたの知りたい情報は？
大腸がんの患者さんが、ご自身の状況に合わせて欲しい情報を知ることができるよう、テーマ別に、わかりやすく解説いただきました。

携帯でも見やすくなっています！
是非、ご視聴ください！
https://www.cancernet.jp/brc/videos/

活動報告　アーカイブ配信はこちら

当日、ゲストのお二人のお着物姿が素敵でした。こちらより、講師・ゲストのプロフィールや当日の写真も、ぜひご覧ください。

https://www.cancernet.jp/33043

大腸癌治療の最新情報。薬物療法の解説が充実！
患者さんのための
大腸癌治療ガイドライン
2022年版
大腸癌研究会 編
大腸癌について知りたい人のために
大腸癌の治療を受ける人のために
B5判 88頁　定価1,320円
（本体1,200円+税10%）
ISBN978-4-307-20445-3
金原出版 https://www.kanehara-shuppan.co.jp/

6月5日（日）第8回 OCT(Over Cancer Together)がんサバイバーズ・スピーキング・セミナー開催報告

上：参加者との記念撮影　下：ワークショップの様子
会場：東京ウィメンズプラザ（東京都渋谷区）

「Over Cancer Together ～がんを共にのりこえよう～（OCT）」キャンペーンは、がんに関係のある人々が自分の体験を語ることで、日本のがんに関する課題を明らかにし、「がん患者を含む国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会」の実現を目指そうというキャンペーンです。

本年の26名の受講者は、事前にインプットセッションの6講演を聴講したうえで、6月5日のワークショップに臨みました。6月5日当日は、コービンあやこさんによるアイスブレイクで受講者の緊張がほぐれたところで、OCT6期髙木健二郎さん、OCT5期岩澤玉青さんから、現在の活動についてご講演いただきました。ワークショップでは、講師の久田邦博さんからプレゼンテーションの重要なポイントについての説明が行われた後、7グループに分かれ、ファシリテーターのもと、グループ内での意見交換を通して、事前に各自が作成してきた3分間のスピーチ原稿をブラッシュアップしていきました。受講者全員が3分間のスピーチを行うのは初めての試みでしたが、それぞれが社会に訴えたい課題やその解決策を発表する実りある場となりました。3年ぶりの対面での開催は、受講者の想いや情熱をシェアすることで化学反応が起こることを改めて感じました。受講者からは、グループでのディスカッションやファシリテーターの的確なフィードバックを通してスピーチをブラッシュアップできたこと、発表することで自身の考えがまとまり、次のアクションへの覚悟ができたという感想が寄せられました。

8月のジャパンキャンサーフォーラム（JCF）では、受講者数名が講演します。ぜひ皆様に今回の成果をご覧いただきたいと思います。

なお、本OCTは、ブリストル マイヤーズ スクイブのC2C4Cを通じたご支援により開催いたしました。

担当／多田

【インプットセッション】（5/23~6/4）	
1	OCT について 國村 三樹氏
2	医療者から　キャンサーサバイバーに期待すること 山内 英子先生（聖路加国際病院 ブレストセンター長）
3	国の政策を知り、がんサバイバーが出来るロビー活動 天野 慎介氏　（一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長）
4	がん患者が発信するうえで気をつけなければならない“がん”のこと 勝俣 範之先生（日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授）
5	メディアを有効に活用するために 橋本 佐与子氏　（MBS 毎日放送 報道局 ディレクター）
6	体験を伝えるコツと大切なこと 久田 邦博氏（プレゼンテーションスキルコーチ・しあわせです感謝グループ代表）

詳しくはこちら
https://www.octjapan.jp/

C2C4Cで集まった資金で正しいがん医療情報を届けます！

この度、キャンサーネットジャパンは、「がんと向き合う人たちにもっと何かをしなければ」という気持ちからスタートしたブリストル マイヤーズ スクイブのチャリティサイクリングイベント・Continent 2 Continent 4 Cancer（C2C4C）の取り組みに賛同し、同社とパートナーシップを結びました。

C2C4Cにかける想い・取り組みにご賛同いただける方の温かいご支援をお待ちしています。

なお、このご支援は、ブリストル マイヤーズ スクイブを介さず認定NPO法人キャンサーネットジャパンへと届きます。募集期間は、6月1日から10月28日までのイベントになります。是非、ライダーの応援とご寄付のご協力お願いいたします。

詳しくはこちら
https://congrant.com/project/cnjdonation/4365

Bristol Myers Squibb™
ブリストル マイヤーズ スクイブ

2022 CONTINENT 2 CONTINENT 4 CANCER RIDE

乳がん体験者コーディネーター（BEC）養成講座

第17期全体発表・修了式が行われました。

5月14日（土）東京ウィメンズプラザにて、第17期乳がん体験者コーディネーター（BEC）養成講座の全体発表・修了式が行われました。感染対策をしっかり行いながら、2年ぶりに対面での開催。この日新たに23名のCNJ認定乳がん体験者コーディネーターが誕生しました。

第17期BEC養成講座は、昨年9月に前期講座が開講し、計20の講義および試験を修了した方が、今年3月からの後期講座に進みました。後期では実際の相談の場を想定したケーススタディ・ロールプレイも行い、前期後期の集大成として、この全体発表の場があります。自身が学んだこと、そしてこれからの展望を緊張しながらも、一人ずつ前に出て堂々と発表を行いました。また後期講座では「プレゼンテーションの基礎知識」の講義もあり、学んだことを生かしての発表となりました。残念ながら当日出席できなかった方も事前収録のビデオで参加し、お互いの発表からも多くを学びました。

応援に駆け付けたほかの期の認定者も、自身が発表した時を思い出しながら聞いていました。終了後には、17期認定者へ先輩として応援のメッセージをくださり、期を超えた交流の場にもなりました。最後はみんなで記念撮影。BEC認定者の皆さんが自身の想いを形にできるように願っております。

上：参加者との記念撮影　下：発表の様子

認定者の活動状況はこちらからご覧いただけます。

https://www.cancernet.jp/training/beccin-activity

※2022年5月現在 本名で活動していて、情報公開をご了承いただいた方の一部のご紹介です。

第18期募集開始しました！

2022年9月から開講する乳がん体験者コーディネーター（BEC）養成講座第18期の募集を開始しました。

乳がん体験者コーディネーター（BEC）養成講座は、e-learningを使った全20講義の視聴とレポート提出、また修了試験から構成される【前期】と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。2007年に開講し、今年は第18期となります。乳がんに関する信頼性の高い医療情報にアクセスし、提供できる能力を習得する養成講座です。

BEC養成講座受講者の多くは乳がん体験者ですが、そのほかにも患者家族や患者支援をされている方など幅広く受講することができます。自身の治療のためや、患者支援活動のために知識を得たい方、医療施設やヘルスケア関連企業等に勤務する方、またご家族が患者さんをサポートするためなど、受講される目的は様々です。修了された方はBEC認定者として、全国で活動されています。皆様の申込みをお待ちしております。

【各種割引】9月30日までに申し込まれた方は、早割が適用され前期受講料が9,900円引きとなります。お住まいの都道府県による割引もありますので、詳細はウェブサイトをご覧ください。

担当／淺葉

CNJ養成講座
Breast cancer Experienced Coordinator
BEC Breast cancer Experienced Coordinator 乳がん体験者コーディネーター養成講座
乳がんと診断され直面する問題（主として乳がん医療情報に関する問題）を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。

詳細はこちらから

https://www.cancernet.jp/training/bec

9月1日(木) 開講

早割申込期間：9月30日まで
前期受講料：80,300円（税込）

通常申込期間：12月19日まで
前期受講料：90,200円（税込）

第11回 男性乳がんの会開催

2月26日（土）第11回目となる男性乳がんの会をオンラインで開催し、11名の患者さんと4名の医療者が参加しました。

今回はゲストに公認心理士で認定NPO法人マギーズ東京理事の栗原幸江さんをお招きし、がんと心のケア「対話がつなぐ、支えると支えられるの循環」というテーマでお話をいただきました。講演のなかで、「しんどいときこそ心と体のエネルギー量に応じて『楽』につながりそうなことを探してみる」とお話されたのが印象的でした。そのあと少人数ごとのグループに別れて交流会をしました。

担当／藤原

左：ゲストの栗原幸江さんが当日お話しをしてくださいました。

次回開催のお知らせ

お申込みこちらから

https://ws.formzu.net/dist/S82766935/

日時：8月28日(日)
時間：14:00～
場所：東京ウィメンズプラザ 視聴覚室C
（東京都渋谷区神宮前5丁目53-67）

薬剤師向け CML 治療環境向上プロジェクト

血液のがんである慢性骨髄性白血病（CML）の患者支援のため、薬剤師を対象とした特設動画サイトを作成し、治療環境向上のため、特にアドヒアランス（患者が治療方針の決定に賛同し積極的に治療を受けること）支援を目的にプロジェクトを開始しました。

10数年前まで治療が困難だったCMLは医学の進歩により、今やABLチロシンキナーゼ阻害剤（TKI）を継続的に服薬することで、CMLで死亡することはほぼ無いとまで言われるようになりました。しかし、非常に高価なTKIを生涯服用しけなければならないCML患者は、医療費の軽減目的や副作用の苦しみから、自己判断で減薬したり中止したりするケースが散見されます。

CML患者にとって、主治医の次に身近な医療者はTKIを渡す薬剤師です。TKIは内服薬であり、その服薬アドヒアランスが治療のカギを握るため、CML患者にとって薬剤師は大変重要な存在だということが、本プロジェクトに先立ち実施した血液内科医、CML患者のアンケートでも浮き彫りになりました。

動画を視聴できるのは薬剤師の方のみです。血液内科医によるCMLの解説動画（5本）、薬剤師からのメッセージ動画（2本）を公開しており、視聴前後に簡単なアンケートへの回答をお願いしています。このプロジェクトへ参加された薬剤師には修了証をお渡しし、修了者在局の薬局名を一般の方もご覧いただける特設サイトのトップページで公開します。

一人でも多くの薬剤師の方に動画を視聴していただき、CMLについて学んだ薬剤師の方がCML患者のサポーターとなることで、CML患者の服薬アドヒアランスが向上することを願っています。

なお、この企画は、ファイザー株式会社より、医学教育プロジェクトの助成を受け2023年夏まで実施予定です。

担当／多田

CML 患者アンケート結果

https://www.cancernet.jp/investigations

https://www.cancernet.jp/cml-videos_for_Ph

第7回 CNJ がんナビゲーター（CCN）認定試験

CNJがんナビゲーター（CCN）認定試験は、「がんに関する信頼性の高い情報にアクセスし、理解できているかどうか」を評価する目的として実施しており、今期で7回目を迎えます。

試験はオンラインで実施しており、PC以外にもスマートフォンやタブレットでも受験できます。合格された方には後日認定証を送付しており、認定期間は3年間、更新制度はありません。がん医療は日々進歩し続けていますので、情報のアップデートとして毎回の受験をおすすめしています。

試験に向けての勉強方法としては、CNJが配信しているコンテンツの活用がおすすめです。動画や冊子など、全てオンライン上でいつでも見ることができます。ぜひご活用ください。

受験料の支払いについても、今年度から新たにコンビニ決済が使えるようになりました。インターネット環境があればどこからでも受験できます。多くの方からのチャレンジをお待ちしております。

担当／濱中

申込受付：8/1(月)～10/21(金)17時まで

受験料：11,000円(税込)

試験期間：11/11(金)～11/12(土)

詳細はこちらから

https://www.cancernet.jp/training/ccn

◆試験問題のサンプル　※2021年試験問題より

Q1　胸部レントゲン検診をしていれば、肺がんは必ず早期に見つけることができる。

1：○　2：×

Q2　介護保険は、本人が申請しなければならない。

1：○　2：×

Q3　悪性リンパ腫は（　）が、がん化しておこる腫瘍である。

1：好中球　2：リンパ　3：リンパ球　4：リンパ節

（正解：Q1：2　|　Q2：2　|　Q3：3）

医療従事者向け「グリーフケア プレ講座 ～今、死別を経験する人たちに、医療者ができること～」実施（2022年5月31日）

コロナ下になってから、終末期の患者さんと以前のようなお別れができないがん患者家族を前にして、もどかしい想いや無力感を抱いているという医療者の声が届いていました。キャンサーネットジャパンでは、がん患者支援の立場から医療現場におけるグリーフサポートの重要性をかねてから認識していましたが、昨夏のジャパンキャンサーフォーラムで一般社団法人リヴオン（代表尾角光美さん）と「グリーフケア」のセッションを実施したことをきっかけにプログラムの検討を重ね、5月31日にリヴオンとの共催で「医療従事者向けグリーフケアプレ講座」の開催が実現しました。

この講座は事前に97名よりお申し込みをいただき、当日はリヴオン代表の尾角光美さんからの「グリーフの基礎を学ぶ」と「医療従事者ができるグリーフサポート」、そしてCNJ理事長の岩瀬哲先生からの「私が医療者にグリーフを考えてほしい訳」の3講演を軸にして、ワークショップを取り入れながら2時間半の学びの時間となりました。

参加者の満足度は非常に高く、「自分の思いに向き合える時間になった。今までグリーフについて学ぶ機会がなかったので貴重な講座だった。他の医療者がどのようにグリーフケアを行っていたかを知ることができた。考え方、捉え方などヒントをたくさんもらえた。自分自身のケアも大切だと知った。グリーフケアへの向き合い方に不安を持ちながら仕事をしているスタッフが大勢いることが分かった。病棟にもどって還元できる内容が多くあった。」などのコメントがありました。今後に向けて、多くの医療従事者にグリーフの基礎を知っていただく場や、グリーフサポートを実践的に学べる連続講座の提供を検討し始めています。グリーフサポートを学んだ医療従事者が全国の現場で活躍することで、喪失・死別の支えが浸透し、グリーフサポートが当たり前に行われる社会となることを目指していきたいと思っています。

担当／古賀

上段：（左上）司会：中井美穂さん、
（右上）尾角光美さん、（下）岩瀬哲先生
下段：尾角さんセッションの様子

活動報告は
こちら

https://www.cancernet.jp/gc220531

LAVENDER RING 写真展を実施 がんサバイバーが輝ける国は、きっといい国だ。

キャンサーネットジャパンと電通の有志、資生堂と共に実施しているLAVENDER RINGの活動の一環として、霞が関コモンゲート（1月31日－2月10日）、練馬区役所（3月3日－3月8日）、横浜SOGO（5月27日－6月1日）にて写真展が行われました。展示した写真は昨年の世界対がんデーに刊行したフォトブック『自分らしく、を生きていく。－がんとともに生きる206人の笑顔と想い－』に収められたがんサバイバー達のポスターです。

担当／古賀

LAVENDER RING CHANNEL

LAVENDER RING は今年のジャパンキャンサーフォーラムでも多くのサバイバーが笑顔になるようにとの思いを込めて充実したプログラムをお届けする予定です。どうぞお楽しみに！

LAVENDER RING

詳細は
こちらから

https://www.japancancerforum.jp/lavender_ring

オンラインショップが オープンしました！

CNJオンラインショッピングサイトがオープンしました。これまでの注文フォームから購入の際は、銀行振り込みのみの取り扱いでしたが、クレジットカード決済も対応可能になりました。今後も多様な決済方法が追加され、さらにご購入いただきやすくなります。在庫数も連動しわかりやすくなりました。なお、電話・FAXによる注文は、2022年5月までで終了いたしました。企業・団体様の請求書対応についてはお問合せください。

オンラインショップでは、今後も新商品など追加していきますので是非ご利用ください。グッズを購入して、がんの啓発・支援をどうぞよろしくお願いします。

CNJ
オンライン
ショップ

https://cancernetjapan.shop-pro.jp/

オンラインセミナー「もっと知ってほしい卵巣がんのこと」開催

5月29日（日）、オンラインセミナー「もっと知ってほしい卵巣がんのこと」を武田薬品工業株式会社と共催で開催いたしました。このセミナーは「世界卵巣がんデー（8日）」にちなんで、5月に行われました。

当日は海外を含む全国154名の方に視聴いただきました。司会にご家族が卵巣がん経験者である松本裕子さんを迎え、前半は、小林佑介先生（慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室 専任講師）と平沢晃先生（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床遺伝子医療学 教授）によるご講演でした。小林先生は卵巣がんは組織型によって性質も異なることやそれぞれの特徴や治療の流れについてご講演くださいました。また平沢先生は卵巣がんの遺伝について話されたなかで、遺伝学的検査を行うメリットについて説明してくださいました。卵巣がんや遺伝は複雑で難しいと思っていましたが、お二人の講演はとてもわかりやすく、よく理解することができました。

後半は卵巣がん経験者でもある鈴木牧子さん（NPO法人がんピアネットふくしま 理事長）と太宰牧子さん（NPO法人クラヴィスアルクス 理事長）も加わり、4人でパネルディスカッションを行いました。参加者から寄せられた質問より、テーマを「早期発見や遺伝子検査、予防に関すること」「治療と生活において大切なこと」と2つに絞り、先生方からは医療的な観点から、鈴木さんと太宰さんからは経験者としての立場からの考えをお答えいただきました。実際に遺伝子検査を受けられた太宰さんが、検査をして後悔したことは一度もないとおっしゃっていたのが印象に残りました。

セミナー終了後のアンケートでは、「とてもわかりやすく勉強になった」「がんを経験しても明るく生活している方の姿に勇気をもらえた」などの感想が寄せられました。セミナーの様子は、活動報告およびキャンサーチャンネルより見ることができますので、ぜひご覧ください。

担当／淺葉

上段：左より松本 裕子さん、鈴木 牧子さん、
小林 佑介先生、太宰 牧子さん。
下段：平沢 晃先生

活動報告はこちら

https://www.cancernet.jp/oc220529

冊子「もっと知ってほしい膀胱がんのこと」改訂

2015年の初版から7年ぶりに膀胱がん冊子を改訂いたしました。2019年に膀胱がんの診療ガイドラインが改訂され、それに沿った形で膀胱がんの病期や治療のながれを掲載しています。がんのタイプとして表在性がん、浸潤性がん、転移がんと分けていたものを、がんの深達度として筋層非浸潤性がん、筋層浸潤性がん、転移がんと分けられるようになりました。膀胱がんは、がんの深達度や病期によって治療が変わってきます。治療を受けるときには自身のそれらについて知っておくことが大切です。また改訂版では、近年進歩が著しい薬物療法もアップデートしています。筋層非浸潤性膀胱がんの再発予防のための薬物療法について、リスク分類ごとの解説や、筋層浸潤性がん、転移がんの薬物療法についても詳しく解説しています。CNJのウェブサイトから無料でダウンロードできますので、是非ご覧ください。

担当／藤原

冊子ダウンロード

https://www.cancernet.jp/boukougan

冊子は無料でダウンロードが可能

Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、
グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、
常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、
事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

Takeda | ONCOLOGY

レモネードスタンド2021年度ご報告
第5次助成事業採択のご報告

2021年度レモネードスタンド開催報告

小児・AYA世代のがん患者支援のレモネードスタンドは、2021年度の開催は10件となり、寄付総額は617,132円となりました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス(COVID-19)による影響が続く中でご寄付を頂戴し、心より感謝申し上げます。

現在販売しているレモネードスタンドジャパン応援グッズは、売上から仕入れ値を引いた金額がレモネードスタンドジャパンの寄付となり、小児・AYA世代がん患者支援に使用されます。

レモン&シュガーの作家さんが一つ一つ手作業で作製されているレモネードスタンドジャパン応援グッズもぜひよろしくお願いいたします。

2021年度 レモネードスタンドご報告

総数：　18件
(寄付のみ：8件／開催数：10件)
寄付額：¥502,832 (4/1時点)

レモネードスタンドグッズ売上：
¥229,000 (4/1時点)
売り上げから仕入れ値を引いた寄付分：
¥114,300

レモネードスタンドジャパン2020年度収入計　¥617,132

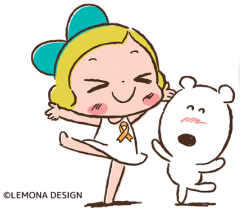
第5次助成事業採択の報告

全国各地のレモネードスタンドジャパンに集まった募金は、小児がん治療研究支援や、小児がん・AYA世代のがん経験者支援に充てています。2015年から開始した助成事業はコロナ禍で募集を延期していましたが、5回目となる助成事業を開始しました。

本助成事業は、小児がん治療・研究団体を主として、2022年3月～2023年3月に実施する小児がんの治療成績の向上のための研究や活動、小児がん・AYA世代のがん経験者支援活動に助成するものです。募集・選考の結果、NPO法人日本小児がん研究グループ(JCCG)、日本小児血液・がん学会の2団体に対し各100万円、総額200万円の助成を決定いたしました。各団体の活動はウェブサイトにて報告予定です。

担当／濱中

レモネードグッズ販売中！



冊子「もっと知ってほしい小児がんのこと」発刊

国立成育医療研究センター小児がんセンター長松本公一先生監修のもと、小児がんの診断・症状・治療に関することや、小児がんを取り巻く様々な情報を分かりやすくまとめた「もっと知ってほしい小児がんのこと」を発行しました。小児がんの子どもたちとその家族、ケアギバーに適切な情報が届き、よりよい環境のもとで治療が受けられるようにと願いを込めて制作しました。

昨年キャンサーネットジャパンが作成した小児がん啓発ゴールドリボンバッジの売上金と小児がん啓発活動に対するご寄付により本冊子の発刊が実現しました。皆さまからのご支援に心からお礼を申し上げます。

なお、本冊子は、キャンサーネットジャパンのウェブサイトから無料でダウンロードしてご覧いただけます。また、1冊500円以上の寄付で冊子を郵送でお届けすることもできます。

今後も内容を改訂していくためにご支援とご協力をお願いいたします。

担当／多田

冊子ダウンロード

https://www.cancernet.jp/shounigan
冊子は無料でダウンロードが可能

「小さな親切」実行章の受章

公益社団法人「小さな親切」運動本部より、親切な行為をした個人や団体に感謝と敬意を示し表彰する「小さな親切」実行章を頂きました。5月25日に城南信用金庫本店講堂で執り行われた贈呈式には、国立成育医療研究センター小児がんセンター長の松本公一先生、参議院議員で小児科医の自見はなこ先生からご祝辞まで賜りました。この受章は昨年9月のゴールドセプテンバー（小児がん啓発月間）のために実施した小児がん啓発活動がきっかけとなったもので、活動の中で多くのご縁が繋がったおかげで支援の輪が広がり、小児がんの治療を受けている子ども達や、社会へ巣立った治療経験者の皆さんが、もっともっと生きやすい社会になることを願いつつ小さな活動を重ねてきたことへのご褒美のように感じています。

これからも努力を惜しまず活動してまいりますので、更なるご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

担当／古賀

贈呈式にて実行章の賞状の贈呈をうける
岩瀬理事長（左から二番目）

※公益社団法人「小さな親切」運動本部
https://www.kindness.jp/

2021 年度プロジェクトのご報告

**NPO 法人キャンサーネットジャパンは、これからも、科学的根拠に基づくがん医療情報を
あらゆる方法で発信し続け、がんサバイバーの声を広く社会に届けることで、がんになっても、
生きがいをもてる社会の実現に向け、精進し続けて参ります。**

活動カテゴリ	プロジェクト	内　容	時　期	場　所	対　象
普及啓発	大腸がん啓発 ブルーリボンキャンペーン	オンラインセミナー開催	3 月	オンライン	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営 メルマガ配信	通年	Web	一般・患者・家族等
		活動に賛同する医師アンバサダー	通年	47 都道府県	医師ら 90 名
		特設 Web 動画サイトの作成	通年	Web	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
	胃がん (消化器がん) 疾患治療啓発キャンペーン	啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	前立腺がん啓発セミナー	Web サイトでの情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
	子宮頸がん啓発 ティール＆ホワイトリボン プロジェクト	啓発リーフレットの配布	通年	東京・大阪事務所	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営 メルマガ配信	通年	Web	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
	卵巣がん啓発	オンラインセミナーの開催 (アストラゼネカ株式会社共催)	10 月	オンライン	一般・患者・家族等
	乳がん啓発	オンラインセミナーの開催 (GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 共催)	10 月	オンライン	一般・患者・家族等
	男性乳がんの会　メンズ BC	オンライン交流会	7 月・2 月	オンライン	患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	小児がん啓発	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
	Japan Cancer Forum	オンラインにて 2 日で 42 のがんに関する講義・プログラムを実施	8 月 (2 日間)	オンライン	一般・患者・家族等
	MBS Jump Over Cancer ちゃやまちキャンサーフォラム	MBS 毎日放送　共催 キャンサーフォーラム	12 月	オンライン	一般・患者・家族等
	がんのセクシュアリティ支援事業 (休眠預金助成)	Web サイトでの情報発信 個別相談アプリ運営 小冊子制作・公開・配布	通年	Web	一般・患者・家族等
		AYA week 2022 イベント参加 オンラインセミナーの開催	3 月	オンライン	一般・患者・家族等
	がんと栄養のこと	映像制作・映像配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	がんと生活のこと	特設 Web サイトでの情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
	SNS	22 種 Facebook Twitter / Instagram/ YouTube	通年	Web	一般・患者・家族等

（期間：2021 年 4 月 1 日～ 2022 年 3 月 31 日）

活動カテゴリ	プロジェクト	内　容	時　期	場　所	対　象
普及啓発	造血幹細胞移植総合支援プロジェクト Start to Be	特設 Web サイトでの情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
		血液がんフォーラムオンラインによる講義・プログラムを実施	11 月（2 日間）	オンライン	一般・患者・家族等
	血液がん	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	多発性骨髄腫	特設 Web サイトでの動画再収録・配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	急性リンパ性白血病	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	造血幹細胞移植	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	小児脳腫瘍	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	婦人科がん	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	キャンサーチャンネル	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	もっと知ってほしいシリーズ冊子	新規 1 冊・改訂 1 冊全 37 冊公開・配布	通年	Web/ 全国	患者・家族等
	機関誌	機関誌作成・発刊	夏、冬	Web/ 全国	CNJ 支援者ら
	株式会社電通の有志、株式会社資生堂との共同プロジェクト LAVENDER RING	Web サイトでの情報発信	通年	Web	一般・患者・家族等
養成講座	CCN：CNJ がんナビゲーター認定試験	Web 試験	11 月	Web	一般・患者・家族
	BEC：乳がん体験者コーディネーター養成講座	Web-Learning 講座＋対面講習	9 ～ 5 月	Web・東京・大阪	乳がん患者ほか
	BEC/CIN フォローアップ	認定者交流会	12 月	オンライン	乳がん患者ほか
草の根啓発活動	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣	通年	藤沢市民病院、相模原市、コロナによる休止中 2 病院	患者・家族等
	がん情報ステーション	対面でのサポート	コロナの影響により中止	東京・大阪	患者・家族等
	Over Cancer Together	ワークショップ形式のスピーチ研修開催	6 月	オンライン	患者・家族等
	レモネードスタンドジャパン	レモネードスタンド開催支援 新古ウィッグプレゼント	通年	全国	一般・患者・家族等
企業協働	かつらのデイリース（企業協働）	提携サロンにてスタイリング・提供	通年	全国	患者
	ウィッグな帽子（企業協働）	提携サロンにてスタイリング・提供	通年	全国	患者
企業に向けた事業その他	社内向け研修企画実施、社内向け動画制作等				

CancerNet Japan

2021年度 サポーターリスト

特定非営利活動法人（以下 NPO 法人）キャンサーネットジャパンの活動は、私どものミッションとビジョンに
賛同を頂いた企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。
以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンに寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

Supporter サポーター企業

※数字・英語・五十音順

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
LEMONA DESIGN 株式会社
MICIN 少額短期保険株式会社
MNC NewYork 株式会社
MSD 株式会社
RTB MOTORCYCLE
味の素株式会社
アステラス製薬株式会社
アストラゼネカ株式会社
アッヴィ合同会社
アムジェン株式会社
アルケア株式会社
アルフレッサファーマ株式会社
イルミナ株式会社
インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社
エコロシティ株式会社
小野薬品工業株式会社
金原出版株式会社
株式会社インテージヘルスケア
株式会社ウカ
株式会社エンプレス
株式会社資生堂
株式会社ツムラ
株式会社電通
株式会社東京義髪整形
株式会社ハースト婦人画報社
株式会社日立保険サービス
グンゼ株式会社
国際ライフサイエンス株式会社
コロプラスト株式会社
コンバテックジャパン株式会社
セコム損害保険株式会社
セルジーン株式会社
ソフトバンク株式会社
大鵬薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
テルモ株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本セルヴィエ株式会社
バイエル薬品株式会社
ブリストル マイヤーズ スクイブ株式会社
メディコン株式会社
メディデータ・ソリューションズ株式会社
メルクバイオファーマ株式会社
ヤフー株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
ユーロメディテック株式会社
有限会社ミューリサーチ

Nonprofit 非営利組織サポーター

※掲載順不同

NPO 法人腺友倶楽部
NPO 法人中皮腫サポートキャラバン
NPO 法人日本小児がん研究グループ
NPO 法人肺がん患者の会　ワンステップ
NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー /E-BeC
一般社団法人 Empower Children
認定 NPO 法人希望の会
一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所
一般社団法人日本小児・血液がん学会
一般社団法人ピーペック
公益財団法人大阪国際がん治療財団
公益財団法人前立腺研究財団
公益財団法人がん研究会有明病院
相模原市
日本がん免疫学会
一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
藤沢市民病院

Media メディアサポーター

※掲載順不同

メディアサイト株式会社
MBS 毎日放送

Lemonade レモネードスタンドサポーター

※掲載順不同

浦野衣江
Orange plus 前田則子
北海道東川高校ボランティア部
Little Pianist ♪
ひのでレモネードスタンド
こどもスマイル Kimama

Supporter 個人サポーター

※掲載順：五十音順・敬称略※掲載のご許可をいただいている方のみのご紹介です。

明石みき
秋山千登世
浅尾敦子
新井友紀
石塚正則
井出慶太郎
伊藤栄次
井上雅一
井本剛司
上瀧大
梅澤 厚
蝦名 章
遠藤 亘
大森真二
大森由子
冲中敬二
岡 雅子
岡田 隆
笠井志保
梶原啓史
北野 敦子
木村晶子
木村晋也
桑原澄恵
小鹿 学
小松弥生
近藤 恒徳
齋藤晋士
斎藤なほみ
佐藤ゆう子
沢田 晃暢
柴田敦巨
白川光政
鈴木正裕
鈴木智子
瀧戸裕一
武田高徳
堂前直美
中井貴祥
中澤真紀
並木泰淳
成田尚代
鳴海 肇
西山 毅
枷場美穂
橋浦由記子
橋本佐与子
浜本康夫
早川孝之
林 由紀
原田雅義
福嶋勝和
ペーターゲスナー
前田利文
三浦倫和
水 八寿裕
御園生梓
守田 亮
山口勝己
山崎宏之
山田 都
吉岡拓耶
渡辺厚こ

海外がん医療 TOPICS

がんと性感染症とセクシャルヘルス

がんになっても豊かな人生を送りたいもの。家族や友人との交流や、趣味や仕事、そしてパートナーとの性的なつながりも大切な人生の側面と言えるでしょう。セクシャルヘルスを考える上で、がん患者かどうかにかかわらず、性感染症について認識しておく必要があります。性感染症は増加傾向にあり、米国で 4 月に発表された 2020 年のデータでも、淋病は前年より 10%、梅毒は 7%、そして梅毒に感染している新生児も 15% 増えていました。

米疾病対策センター（CDC）によれば、若者はオーラルセックス（口腔性交）から性活動に入ることが多く、85% の成人はオーラルセックスを経験しています。性器ヘルペス、性器クラミジア、淋病、梅毒、HPV（ヒトパピローマウイルス）などは、オーラルセックスでも感染します。男性に多く発症する中咽頭がんの大部分は HPV 感染が原因です。HPV 感染は子宮頸がん、陰茎がん、肛門がんの原因にもなるので、米国では 2009 年から男子も対象に 9 価 HPV ワクチンの定期接種を行っています。

その他、ヘルペスの症状がある際には性交を控える、コンドームを使用するなどの予防策があります。また米食品医薬品局（FDA）は 5 月、性感染症予防が目的の女性用下着に対し、はじめて販売の許可（クリアランス）も出しました。膣分泌液を漏らさないコンドームと同じ薄いラテックス製です。オーラルセックス時などに女性が身に着けられるもので、バニラ味付きだそうです。

ニューヨークタイムズ紙の報道には、婚約者の男性が頭頸部がん治療の後に舌の動きの制限や味覚障害が残り、以前楽しんでいたオーラルセックスをする機会がなくなったというカップルの話がでてきます。この下着は着け心地も感触もよく、婚約者を性感染症から守りながら、また楽しめるようになり満足していると話しています。

性感染症の中には自覚症状がなく、感染を知らずに他の人にうつしてしまっている場合もあります。放置すれば不妊の原因になったり、母子感染を起こしたりすることもあります。性行為だけでなく、性感染症予防や治療もパートナーと一緒に取り組むことが大切ですね。

情報提供／海外がん医療情報リファレンス

遺贈寄付のお願い

あなたの遺す志を、がん患者支援へ託していただけませんか？

あなたからの遺贈寄付でできること

- 専門医による講演会実施・講演動画の配信
- 治療情報や経験談冊子を作成し医療機関へ届ける
- がんについての養成講座や認定試験
- 日本最大級のがんフォーラムの実施
- 患者さん同士のピアサポートなどの応援

～遺贈寄付に関するご相談はこちらへ～

電話番号　：070-8519-0336 ／ 03-5840-6072
電話受付時間　：平日 10:00 ～ 17:00（年末年始を除く）
メールアドレス：info@cancernet.jp

スタッフ募集

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパンでは「がん＝悪性腫瘍」に関して、科学的根拠に基づく医療情報や、がん治療中に役立つ様々な情報の発信をしています。がん患者と患者家族のみならず、広く一般の方々が、がんについて正しく理解を深めることを目指して、一緒に活動してくださる職員を募集しています。

【プロジェクト運営｜常勤スタッフ 募集人数：若干名】
イベントやセミナー運用経験をお持ちの方（業界不問）や英語が好きな方歓迎

【業務内容】
・新たな企画を立ち上げ、企画書・収支計画書、趣意書の作成、営業、各社調整等のサポート業務
・事務作業、データ入力、プロジェクト補助業務、イベント準備等

※詳しくは以下のサイトから
https://www.cancernet.jp/recruit

CNJ Speakers 26 号（2022 年 Summer）

編集発行 / 認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン　発行日 / 2022 年 7 月
〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階　https://www.cancernet.jp
電話 / 03-5840-6072　FAX / 03-5840-6073　E-mail / info@cancernet.jp

※次号は、Winter-2023 年 1 月発行になります。

主催：認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

CancerNet Japan

ONLINE

JCF 2022 Japan Cancer Forum ジャパンキャンサーフォーラム

がん患者さんやご家族 一般市民のための 日本最大級の がんフォーラム オンライン開催

共にツナグ、その先の未来

仲間と集う
各がん種疾患情報
大腸がん
ACP（人生会議）
小児がん
肺がん
がんと生活まわり
LAVENDER RING
がんの免疫療法
希少がん
胃がん・食道がん
ヨガ・運動
肝・胆・膵がん
乳がん・乳房再建
グリーフサポート
婦人科がん
漢方・栄養
前立腺がん

※プログラムは、一部掲載例です。詳細は以下のサイトから

2022年 8月6日(土)・7日(日)

事前質問・お申込み受付中

配信時間
6日(土) 10:00 ～ 17:15
7日(日) 10:00 ～ 18:00

詳細はこちら

https://www.japancancerforum.jp/

本セミナーはオンラインにて行います。ご自宅のパソコン・スマートフォン等からご参加が可能です。
ご参加には、インターネット接続環境が必須です。※ご契約の形態により通信料がかかる場合がありますので、予めご了承ください。

視聴無料

①お申込み＆事前質問受付
チラシ記載のURLかQRよりお申込みください。事前質問もこちらで同時に受付けています。

②確認メール(視聴用URL)よりご参加ください
info@cancernet.jpより*確認（自動返信）メールが届けば申し込み完了です。確認メールに視聴サイトURLが記載されています。こちらのURLで当日ご視聴ください。

お申込みQR

★迷惑メール設定をしている携帯電話よりお申し込みされる場合は、必ず「～@cancernet.jp」のメールが受信できるようにしておいてください。
確認メールが届かない場合はメールにてお問合せください。

お申し込みの際に入力されたメールアドレス等の個人情報は、本セミナーの視聴URLをご連絡するために保存いたします。尚、これらの個人情報を共催企業等へ開示・共有することはありません。

お問合せ 認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン https://www.cancernet.jp/
〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水 K&Kビル 2F
TEL:03-5840-6072（平日 10:00~17:00） Mail:info@cancernet.jp

ブース出展
広告協賛
プログラム共催

アクトメッド株式会社／アストラゼネカ株式会社／アッヴィ合同会社／アムジェン株式会社／インサイト・バイオサイエンシズ・ジャパン合同会社
一般社団法人食道がんサバイバーズシェアリングス／一般社団法人日本小児血液・がん学会／ NPO 法人日本小児がん研究グループ／一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
NPO 法人エンパワリング ブレストキャンサー /E-BeC ／ NPO 法人中皮腫サポートキャラバン隊／ NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構／慶應義塾大学病院
国際ライフサイエンス株式会社／武田薬品工業株式会社／テルモ株式会社／日本イーライリリー株式会社／日本がん免疫学会／日本セルヴィエ株式会社
認定 NPO 法人希望の会／バイエル薬品株式会社／ MICIN 少額短期保険株式会社／ヤンセンファーマ株式会社

50 音順